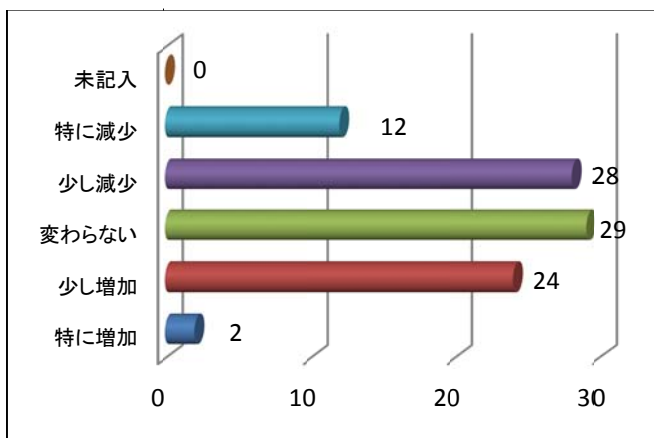
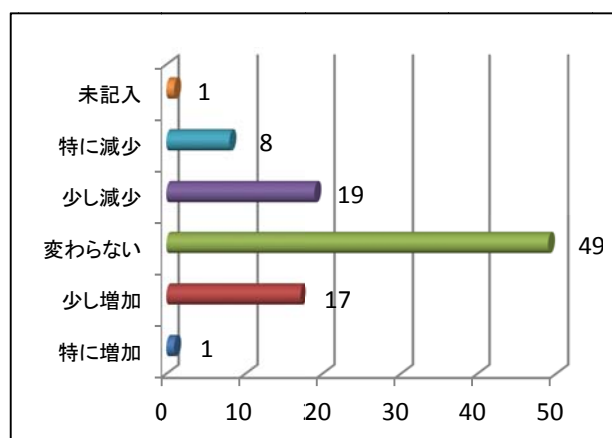


宇部労働基準監督署では、最近の建設業における労働災害の増加傾向を踏まえ、管内の建設事業者自主点検及びアンケートを実施したところ、回答結果について以下のとおりでした。（平成29年7月実施：回答事業場数95事業場）

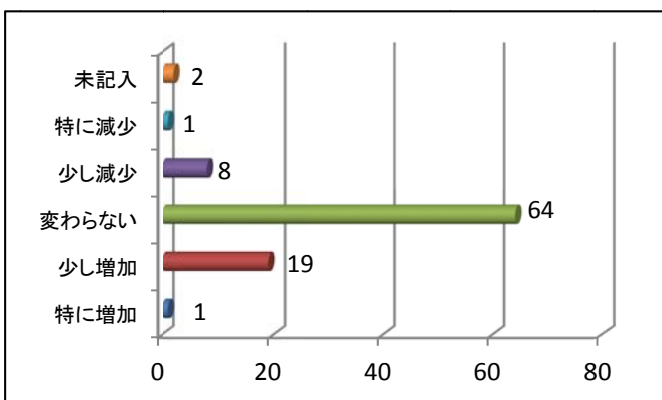
Q1 受注工事量の増減についてはどうですか。



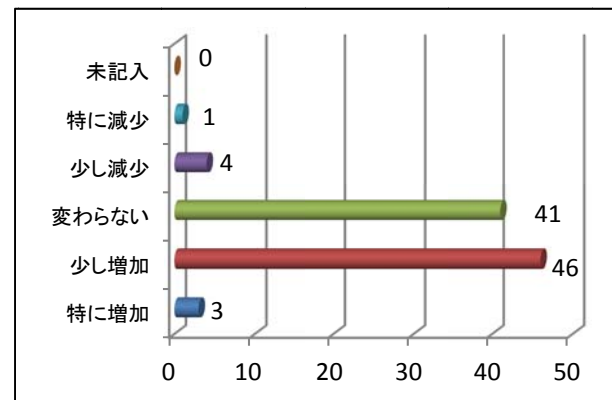
Q2 工事期間中のかけもち現場数の増減はどうですか。



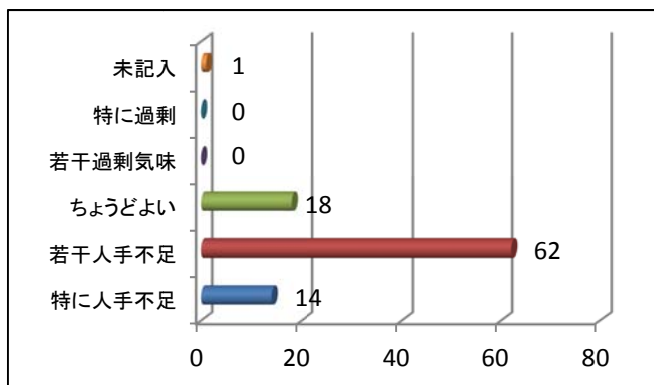
Q3 安全パトロールの回数の増減はどうですか。



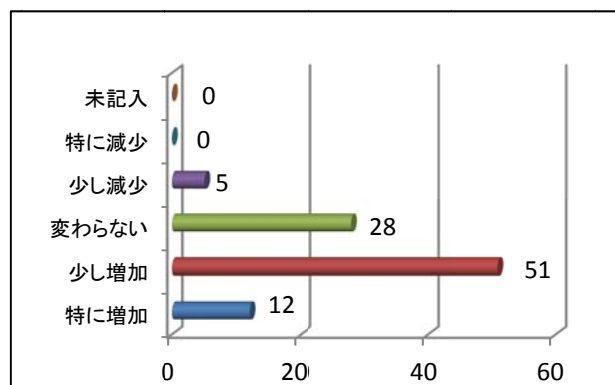
Q4 安全に関する経費の増減はどうですか。



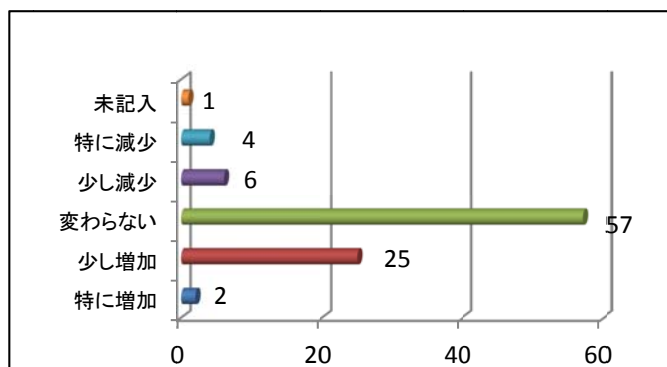
Q5 工事量に対する作業員の充足感はどうですか。



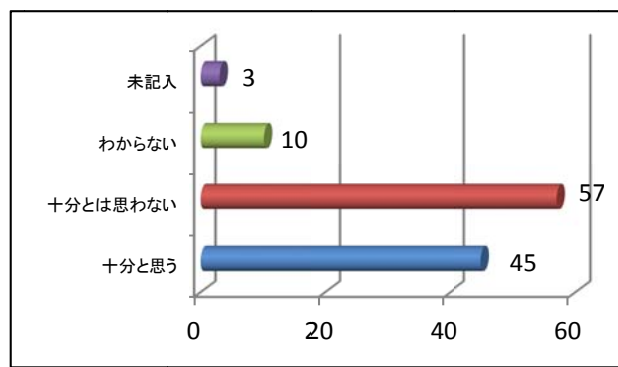
Q6 労働者のうち高齢者が占める割合はどうですか。



Q7 経験や知識が浅い未熟熟練労働者の割合はどうですか。



Q8 安全衛生責任者（職長等）への安全教育は十分と思いますか。



Q11 労働災害が増加している要因で、最も大きいと考えるものを自由に記入してください。(一部抜粋)

建設労働者の不足から、熟練工の高齢化が進み減少しているため、若年層の労働者の安全に対する認識不足
過当競争による工事費の適正価格以下による受注
全体的に工事量が増加し、一つの現場に対する意識が低下しつつある
未熟練者の増加と現場での知識不足と経験不足が要因
安全に対する従業員の温度差が激しい
安全対策費、法定福利費、現場管理費等が安い
工事期間が短い
安全教育をしても、安全感性（危険意識）が低い者がいる。（安全帯を着用しているがフックを掛けない。フォークリフト作業でエンジンを止めないで離れる。電動工具のコンセントがついたまま修理する。）
事故に対するペナルティーはあっても、無事故に対する評価が低いので、なかなか安全に対する向上が進まない
管理者不足により安全対策が不十分
作業員不足により、時間に追われて安全意識が薄れている
安全教育は十分に受けているが、それを伝えきれていないことが多い
短納期現場の上、作業員不足・熟練工不足等により仕事量が増え、集中力等の低下。結果、確認作業を省いたり、不安全作業を強行したりして、自ら災害をつくってしまう
労働者の高齢化と若年労働者不足による労働者人口の減少と施工量のアンバランスによる各労働者の作業負担の増大による安全作業意識レベルの低下
世代交代による若返りで経験豊富なベテランが少なくなるなか、技術伝承の遅れなどがあり、知識や経験の浅い若手が増え、全体的な危険に対する感性の低下や技術力の低下が労働災害増加の原因の1つとして考えられる

～監督署からのメッセージ～

アンケート結果から、建設業を取り巻く環境について、多くの建設事業者が、**人手不足、労働者の高齢化、未熟練労働者の増加、作業員の安全意識のレベルの低下等**について、感じられているようです。また、安全衛生責任者（職長等）に対しても、安全教育が十分とは思わない会社の方が多結果となっています。

建設事業者におかれては、**未熟練労働者に対する安全衛生教育の実施を特に徹底していただき、安全衛生責任者（職長等）に対しても、能力向上のための教育の再徹底**を図っていただきたいものです。

一方、発注者におかれては、労働災害防止のため、適切な工期設定、十分な安全衛生経費の確保をお願いします。

建設自主点検（土木）集計結果（75現場）

※実施率は、回答のあったもののうち、「はい」の割合を示したもの（90%以下を朱書きで表示）

点検結果

移動式クレーン、車両系建設機械等による災害防止

- ・移動式クレーンや車両系建設機械等の作業計画を作成、周知しているか。
- ・移動式クレーンや車両系建設機械等の周辺に立入禁止の表示があるか。
- ・移動式クレーンのアウトリガを十分張り出しているか。
- ・車両系建設機械等の路肩からの転落防止措置を講じているか。
- ・車両系建設機械を用途外使用していないか。
- ・特定自主検査、月例点検、使用開始前点検を実施しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
57	5	13	92%
55	6	14	90%
42	2	31	95%
43	1	31	98%
62	3	10	95%
68	1	6	99%

土砂崩壊災害の防止

- ・事前調査を実施しているか。
- ・地山の掘削こう配の基準を超えていないか。
- ・人力による法面の作業にロリップ付き安全帯を使用しているか。
- ・土止め支保工を設けているか。
- ・土止め先行工法を採用しているか。
- ・土止め支保工の部材は適正か。切りばり、腹おこしが確実に取り付けられているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
35	1	39	97%
34	0	41	100%
12	2	61	86%
17	0	58	100%
12	3	60	80%
15	1	59	94%

墜落防止対策

- ・昇降設備を設置しているか。
- ・墜落防止対策は適正か（墜落防止柵の設置等）。
- ・ロープ高所作業時にライフラインを設置しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
32	1	42	97%
31	3	41	91%
13	2	60	87%

安全衛生保護具の着用状況

- ・保護帽の着用（墜落、飛来落下の危険性がある場合は、対応する保護帽か）。
- ・墜落危険箇所では安全帯を使用しているか。
- ・服装・履物はよいか（清潔か。防寒はよいか。滑りやすすくないか）。
- ・作業に応じた安全衛生保護具（防じんマスクなど）を使用しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
72	0	3	100%
45	0	30	100%
73	0	2	100%
57	0	18	100%

有資格者の配置・作業状況

- ・新規入場者教育を実施しているか。
- ・地山の掘削や土止め支保工等の作業は、作業主任者の指揮の下で行っているか。
- ・移動式クレーン・車両系建設機械の運転や玉掛けは有資格者が行っているか。
- ・ロープ高所に関する作業は、特別教育受講者が行っているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
70	1	4	99%
46	1	28	98%
70	0	5	100%
14	1	60	93%

連絡調整、危険予知活動

- ・災害防止協議会を月1回開催しているか。
- ・関係請負業者ごとにKY活動を実施しているか。
- ・安全衛生パトロールを適正に実施しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
57	7	11	89%
70	2	3	97%
66	5	4	93%

作業現場に必要な掲示物

- ・労災保険関係成立票を掲示しているか。
- ・足場や型枠等の作業主任者の職務・氏名を掲示しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
59	1	15	98%
44	0	31	100%

改善した事項、感想等

パトロール当日は暑い日で、重機での1人作業となっていたので、熱中症対策を徹底と定期的に巡回するように指導した。
社内では、現場では必ず重機に乗る時は、シートベルトを装着するように徹底することとした。
クローラクレーンによる杭圧入作業であったが、作業計画書・作業手順書とおりに、保安施設の設置・人員配置・作業区域の明示が行われていた。
コンクリート打設車（ポンプ車）の周囲に三角コーン等はなかった。
ポンプ車の後側アウトリガー下端に敷板（鉄板等）がなかった。
足場と構造物との隙間が広いので、内側に手摺またはブラケットではね出して隙間を300mm以下にする。型枠組立解体に支障があるのならば、親綱を設置して安全帯の使用ができるようにして表示もすること。早急に是正することを指示した。
朝一のミーティング、一人一人のKYアタックの発表、みんなでの安全昌和がよいです。
保護具の着用について、各作業に合った保護具を作業毎に適正に使用が出来ていないので、指導を徹底したい。
作業時、船のハンドレールに安全帯をひっかけている。
パトロールにより転落防止柵の高さの整合性を指摘し改善された。
発電機等のアースの設置が不十分であったので指摘し、その場で改善
現場によっては工程毎に下請業者が変わるので安全書類で施工体制のチェックを行い、適格な指示・打ち合わせが重要と認識した。
移動式クレーンには、カラーバーにて立入禁止措置がしてあり良好である
部材吊上げ時、サイレンを鳴らし周囲に注意喚起を実施
元請の指導のもと安全管理が完璧に行われています
仮設材の撤収作業時に、監視人の配置等第三者災害対策良好
斜面他に止めている車両の一部が車止めをしていなかったため、必ず車止めを設置するように指導した
約2mの掘削場所で、昇降設備はあったが固定が確実でなかったため、番線で緊結し固定するように指示をし、実施させた
移動式クレーン作業、有資格者配置等、安全管理は良好でした
熱中症の予防において、日々の体調管理、予防グッズ等の確認を実施するよう今後も管理を徹底していきます
車両系建設機械について、月例点検不備を改善した
全体的に安全への意識が高く、不安全行動が見られなかった
作業通路が法面に接しているのでロープを張り、表示をするように指示

建設自主点検（建築）集計結果（54現場）

※実施率は、回答のあったもののうち、「はい」の割合を示したもの（90%以下を朱書きで表示）

点検結果

外部足場の状態

- ・手すり先行工法を採用しているか。
- ・作業床の最大積載荷重が表示されているか。
- ・作業床・手すり・中さん・下さん・幅木等の状態はよいか。
- ・鋼管・脚柱ジョイントの抜け止め等の状態はよいか。
- ・壁つなぎ・筋かい・控え・頭つなぎ・脚部（滑動防止）等の状態はよいか。
- ・昇降設備の設置状態はよいか。
- ・足場上に資材、工具が放置されていないか（整理整頓）。
- ・外部足場上で不安全な行動をしていないか。
- ・足場材の緊結作業時に幅40cm以上の作業床を設置しているか。
- ・床材と建地の隙間は12cm未満か

はい	いいえ	回答なし	実施率
35	3	16	92%
37	1	16	97%
39		15	100%
39		15	100%
39		15	100%
38		16	100%
39	3	12	93%
40		14	100%
37	1	16	97%
36	1	15	97%

開口箇所の墜落防護の状態

- ・開口部の覆い、囲い、手すりの設置状況は適正か。
- ・安全ネットの状態はよいか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
30	1	23	97%
23	1	30	96%

型枠支保工の倒壊防止

- ・組立図のとおり組み立てているか。強度計算書により強度を確認しているか。
- ・滑動防止対策を講じているか。
- ・水平つなぎを設置しているか。
- ・水平つなぎの変位防止を講じているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
10	0	44	100%
10	0	44	100%
9	0	45	100%
9	0	45	100%

機械災害防止

- ・手持式グラインダ等回転物に安全カバーを装着しているか。
- ・車両系建設機械を用途外使用していないか。
- ・クレーンやドラグショベル等の作業計画を作成、周知しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
39	0	15	100%
37	0	17	100%
30	0	24	100%

安全衛生保護具の着用状況

- ・保護帽の着用（墜落、飛来落下の危険性がある場合は、対応する保護帽か）しているか。
- ・墜落危険箇所では安全帯を使用しているか。
- ・服装・履物はよいか（清潔か。防寒はよいか。滑りやすすくないか）。
- ・作業に応じた安全衛生保護具を使用しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
53	0	1	100%
50	0	4	100%
54	0	0	100%
54	0	0	100%

有資格者の配置・作業状況

- ・新規入場者教育を実施しているか。
- ・足場や型枠の組立て作業は、作業主任者の指揮のもとに行っているか。
- ・足場や型枠の組立て作業は、特別教育受講者が行っているか。
- ・ドラグショベル、移動式クレーンの運転や玉掛けは有資格者が行っているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
51	0	3	100%
42	0	12	100%
41	0	13	100%
44	0	10	100%

連絡調整、危険予知活動

- ・災害防止協議会を月1回開催しているか。
- ・関係請負業者ごとにKY活動を実施しているか。
- ・安全衛生パトロールを適正に実施しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
47	2	5	96%
52		2	100%
51	2	1	96%

作業現場に必要な掲示物

- ・労災保険関係成立票を掲示しているか。
- ・足場や型枠等の作業主任者の職務・氏名を掲示しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
49	2	3	96%
43	1	10	98%

改善した事項、感想等

法及びルールに準じて確実に安全活動を行っている。
工事現場を点検したが、職長（作業主任者）の指揮のもとで作業しているが、作業主任者の表示が作業箇所ではなく、安全看板にKYボードと一緒に掲示されていた。現地でのKYを実施してほしい。
労災関係成立票は元方事業者に対し提出していますが、プラント内での掲示は行っていません。今後、必要があれば掲示します。
有資格者の表示がなかった。早急に掲示するように指示をする。
強風・地震時での枠組足場点検リストが整理してある。日常点検を実施しており良好であった。（枠組足場）
現場全体の安全管理が完璧に行われていると思います。
現場までの安全通路がない為、作業する人や大型車の動きではちょっとした事で牽かれたりする恐れが予想された。
足場上、作業所内の片付け整理整頓良好。
天候等に注意をして現場を見ている。KYをして基本的に作業に入っている。
整理整頓の徹底
「熱中症」には十分気をつけましょう。
足場組立後点検を行っているが、一部見落等もあったので、足場組立後は再度入念に点検を行おうと思った。
熱中症対策を確認。OS-1の追加を指示
足場に工具が置かれたままになっていた。即時是正させた。
気温が高く、ガスボンベを遮光シートで被いをするよう指示。
足場の作業床から躯体に移る渡り廊下を四方に設置すること。
最上層の水平つなぎをとるようにすること。
全般的に不安全行動をする者もなく、3Sによく出来ている印象

建設自主点検（低層住宅建築）集計結果（17現場）

※実施率は、回答のあったもののうち、「はい」の割合を示したもの（90%以下を朱書きで表示）

点検結果

作業現場に必要な掲示物

- ・ 労災保険関係成立票を掲示しているか。
- ・ 木造建築物の組立て等作業主任者の氏名等を掲示しているか。
- ・ 足場の組立て等作業主任者の氏名等を掲示しているか。
- ・ その他、必要な資格の作業主任者の氏名等を掲示しているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
13	1	3	93%
10	3	4	77%
10	2	5	83%
12	1	4	92%

作業主任者等の有資格者の配置・作業状況

- ・ 足場の組立て作業は、足場作業主任者の指揮で行っているか。
- ・ 足場の組立て作業は、特別教育受講者が行っているか。
- ・ 建方作業は、木建又は鉄骨作業主任者の指揮で行っているか。
- ・ 移動式クレーンの運転、玉掛は有資格者が行っているか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
12	1	4	92%
11	1	5	92%
11	1	5	92%
14	0	3	100%

安全衛生保護具の着用状況

- ・ 保護帽を着用しているか（アゴひもの締め、破損の有無）。
- ・ 墜落危険箇所では安全帯を使用しているか。
- ・ 服装・履物はよいか（清潔か。防寒はよいか。滑りやすくないか）。
- ・ 作業に応じた安全衛生保護具を使用しているか。
（防じんマスク、保護めがね、耳栓等）

はい	いいえ	回答なし	実施率
16	0	1	100%
13	0	4	100%
16	0	1	100%
11	0	6	100%

外部足場の状態

- ・ 足場先行工法を採用しているか。
- ・ 作業床の最大積載荷重が表示されているか。
- ・ 作業床・手すり・中さん・下さん・幅木等の状態はよいか。
- ・ 鋼管・脚柱ジョイントの抜け止め等の状態はよいか。
- ・ 壁つなぎ・筋かい・控え・頭つなぎ・脚部等の状態はよいか。
- ・ 屋根からの墜落防止用手すりの状態はよいか。
- ・ 昇降設備の設置状態はよいか。
- ・ 足場上に資材、工具が放置されていないか（整理整頓）。
- ・ 外部足場上で不安全な行動をしていないか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
9	3	5	75%
10	1	6	91%
11	0	6	100%
11	0	6	100%
12	0	5	100%
10	1	6	91%
11	0	6	100%
12	0	5	100%
12	0	5	100%

脚立、脚立足場、はしごの状態

- ・ うまを脚立代わりに使っていないか。
- ・ 脚立足場の足場板の固定はよいか。
- ・ はしごの固定状態はよいか（上部固定・下部の滑動防止）。
- ・ 不安全な使い方をしていないか（脚立、脚立足場、はしご）。

はい	いいえ	回答なし	実施率
12	0	5	100%
10	0	7	100%
10	0	7	100%
12	0	5	100%

開口箇所の墜落防護の状態

- ・ 安全ネットの状態はよいか。
- ・ 開口部の覆い、囲い状態はよいか。
- ・ 仮床、本床の取付け状態はよいか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
6	0	11	100%
7	0	10	100%
8	0	9	100%

機械災害防止

- ・ 木材加工用機械の安全装置を使用しているか。
- ・ 瓦揚げ機の取扱いはよいか。

はい	いいえ	回答なし	実施率
9	0	8	100%
7	0	10	100%

改善した事項、感想等

RC・S・木造、全てにおいて、同等の安全活動を行っている。

今回は問題はなかったと思う。今後も安全に注意して施工したいと思います。

新規住宅で舗装が新しかったが、大型が通るのに養生がしていなかった。

気温が高くなりすぎて湿度が高い時は休み時間の間隔を短くして水分補給を心がけるよう指導している。

足場作業床の最大積載荷重の表示、作業主任者の表示を改善した。

顎ひもをきちんと締めていない人が時々おり、朝の体操時に飛びはねて保護帽がずれないかチェックするようにした。

熱中症の注意喚起

荷揚げ場所から建物に移る際の隙間が大きいので、渡り廊下を設置するように指導した。

脚立使用が多いが、使用方法は良く出来ている。

機械設備の安全カバー等もOK